

式 辞

おはようございます。

1学期終業式にあたり二つの話をします。

一つ目は文化祭のテーマ「登龍門」についてです。文化祭リーフレットにも書きました。
9月に読んでください。

テーマの「登龍門」は

「松蔭高校が一丸となってより高いところに向うできるようにという願いを込めた」と
聞きました。元気が湧く思いがし、触発されて「登龍門」について調べてみました。

「登龍門」は「龍門に登る」と読みます。龍門は、中国の黄河上流の難所、激流の名で、
鯉がここを登れば龍になるという伝説があります。この伝説を踏まえて「困難な閑門を突破して躍進の機会を掴んだ人」のことを称えて「登龍門」＝「龍門に登る」と呼んだと『後漢書』にあります。これが出典だそうです。

さて、皆さんは進路や部活あるいは学校行事で、それぞれが目標を持っていると思います。目標は、是非高い目標を持ちましょう。困難で自分の「龍門」となる目標を持ちましょう。困難な「龍門に登る」ための高校時代の苦労、努力は一生の財産です。

二つ目は数字の話です。

「44」と「63」。何でしょう？

「44」は、明日から始まる夏休みの日数です。

「63」は、土日や始業式等を除いた、1学期の授業や考査があった日数です。

何事も継続することで身につくことを考えれば、63日のあとの44日、つまり夏休みの過ごし方はとても重要です。特に学習は「学習習慣」という言葉があるように、授業がなくなる夏休みにいかに習慣を持続させるかが大切です。

時間は平等です。誰にも同じ時間があります。使い方を決めるのは自分自身です。そして、どう使うかで大きな違いが生まれます。

時間をうまく使い充実した夏休みにしましょう。といっても漠然としているので、具体的なアドバイスを一つします。

それは、生活時間帯を変えないこと。朝起きる時間を変えないこと。もっと単純に言えば早起きをすることです。

最後に、お礼です。7月17日（水）朝出勤したら用務員さんから早朝の大雨で2号館が浸水したこと、居合わせた生徒さんが、浸水の処理をしてくれていることを聞きました。ありがとうございました。無事に1日がスタートしました。

このことに限らず、誰しも自分の知らないところ、見えないところで誰かに支えられています。そういった支えに気づける人間でありたいなと改めて思った出来事でした。

2学期始業式、皆さんのが充実した表情を楽しみしています。